



春の足音が聞こえてきます



立春を過ぎたころから、寒いとはいえ、徐々に陽が長くなってきています。縮こまっていたパンジーも、花芽の付いた茎がしゃきっと立ち上がってきました。そんな春の兆しとともに、卒業式や年度末が近づいてきていることを実感する今日この頃です。

学校の冬の風物詩「縄跳び記録会」が、どの学年でも行われました。長縄大会では、クラスが一致団結して跳んだ数を競います。体育館にこだまする子供たちの「ハイ！ハイ！」の声。「仲間と一緒に頑張れる」そんなことを学べるよい活動だと思いました。

卒業前に保護者を迎えて、「感謝の集い」

2月17日（金）、6年生の保護者を招いて「感謝の集い」が行われました。一人一人が自分の夢を紹介したり、保護者と一緒にゲームを楽しんだりしました。また、歌やプレゼントを通して、これまでの感謝の気持ちを家族に伝えることができました。

今後学校では、卒業式に向けた準備が加速度的に進みます。子供たちには、一日一日を大事に過ごしてほしいと願っています。



保護者くらの背丈の子供たちと保護者が一緒に貨物列車

「健康チェックカード」を2月で終了いたします

コロナ感染症の対策の一環として行ってきた「健康チェックカード」を2月で終了いたします。長らく観察結果の報告にご協力いただき、本当にありがとうございました。

引き続きお子様の体調についてはよく観察していただき、以下のような点に留意しながら、感染予防対策を行っていただきますようよろしくお願いいたします。

- これまで同様、検温を行い、発熱、喉の痛み、体のだるさ等の症状がある場合、家族に体調を崩された方や感染の疑いが懸念される方がいる場合は、登校を控えてください。
※上記の事情で休む場合は、今後も「出席停止」扱いとなり、欠席にはなりません。
- 学校でも、検温を児童玄関で行い、各学級ではこれまで同様、丁寧に健康観察の聞き取りを行っていきます。
- 手洗い（ハンカチの携行）の徹底、教室内の換気（CO2 モニターの活用）、アルコールによる手指消毒、消毒薬の設置を行っていきます。

モラルの向上に向けた指導の大切さ

ご存じのように、飲食店における迷惑行為の動画投稿の事案（交流サイト〔SNS〕で拡散）が全国で問題になっています。富山県内でも同様の事案が発生しました。迷惑行為および動画の拡散により、飲食店が甚大な被害を被っていること、社会全体に与える影響等が大きいことなどを重く受け止め、以下のような指導が求められることを学校、家庭、地域が互いに理解し、連携して指導に当たっていくことが大切だと考えます。

小学校段階から、子供たちの規範意識や情報モラル等の向上を願い、指導や声かけに努めてまいりたいと思います。

(1) 児童生徒の倫理観、規範意識の醸成

あらゆる教育活動を通して、社会生活におけるきまりやルールを守ることの大切さ、他者への思いやりの心等を育成するとともに、小さな問題行動も見逃すことなく、「いけないことはいけない」という指導を通して、善悪を判断する力や正しい態度を育成する。

(2) 家庭、地域との連携

家庭では、基本的な生活習慣等を身に付けさせ、ルールを守ることの大切さを繰り返し教えるとともに、地域においても、良いことをした子供をほめたり、ルールやマナーに違反した行動をする子供に注意したりするなどの声かけを行い、家庭・地域・学校が一体となって子供を育てることが大切である。

(3) 情報モラル教育の推進

道徳科の授業等を通して、情報社会における正しい判断や望ましい態度を育て、社会で安全に生活するための危険回避の理解やセキュリティの知識・技能を身に付け、さらには、健康への意識を高めるようにする。

～参考～ 【情報モラル教育に関する参考コンテンツ等】

- 「情報モラル学習サイト～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな?～」
(文部科学省)
- 情報モラルに関する指導の充実に資する〈児童生徒向けの動画教材、教員向けの指導手引
〈保護者向けの動画教材・スライド資料〉
(文部科学省)
- 情報化社会の新たな問題を考えるための教材～安全なインターネットの使い方を考える
(文部科学省)

